

論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称	博 士 （ 学 術 ）	氏名	Pongthong Pongvinyoo
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
<p>論 文 題 目</p> <p>Development of Good Agricultural Practices (GAP) in Thailand: A case study of Thai National GAP selected products (タイにおける Good Agricultural Practices (GAP) の発展 –GAP 対象品目に関する事例研究 –)</p>			
<p>論文審査担当者</p> <p>主 査 教 授 山 尾 政 博</p> <p>審査委員 教 授 田 中 秀 樹</p> <p>審査委員 教 授 実 岡 寛 文</p> <p>審査委員 准教授 細 野 賢 治</p>			
<p>〔論文審査の要旨〕</p> <p>本論文は、タイ農業における Good Agricultural Practices (GAP)の普及と発展過程の特徴を分析したものである。農産物の生産工程管理手法のひとつである GAP は、グローバル化する食料貿易食において「食の安全」(food control)を確保するのに有効だとみなされている。輸出志向型農業を振興するアジアでは、主要輸出農産物の生産において GAP にもとづく生産工程管理の普及を進める国が増えている。世界有数の農産物輸出国であるタイでは、数多くの輸出用農産物が GAP に対応している。本論文の目的は、コーヒー、マンゴスチンを事例に生産者がどのように GAP を認識・理解し、輸出市場対応に必要な生産工程管理を実施しているかを明らかにすることである。具体的な課題は、(1) 農業者の GAP 認識に影響を与える要因が何かを明らかにする、(2) GAP に類似した民間認証の普及状況を分析し、GAP 発展のために政府と民間とるべき協力関係について検討する、(3) GAP 導入による経済的メリットを農家経営実態調査により明らかにする、(4) GAP 認証を受けた生産物のマーケティングと買受人の姿勢について分析する、の4つである。</p> <p>本文は8章で構成されている。第1章では、世界農水産物貿易のなかで GAP に基づく生産工程管理がどのような役割を担っているかを概説し、定義と制度的特徴について明らかにした。第2章では、GAP の社会経済的効果に関する論争、タイにおける GAP の発展過程、農業経営に与える影響、市場へのアクセス等、先行研究の整理を行った。それらを踏まえて研究の枠組みが説明され、課題、目的、論文の構成が述べられた。第3章では、コーヒーとマンゴスチンを対象とした理由、事例研究を実施したチュンポン県とチャンタブリ県の概況、サンプリング手法、インタビューを実施した農業者の特性、分析手法が明らかにされた。</p>			

第4章では、GAPにもとづきコーヒーを生産する農業者に影響を及ぼす諸要因を分析した。市場条件が重要な要素だが、GAP認証をもつコーヒーだけの市場流通が成立していなかった。この点が農産物の標準化や認証化を進める上で大きな障害であった。また、GAPに対する認識に影響する外部的要因と内部的要因が分析された。コーヒーの場合、海外市場での競争力が弱くなり、そのため生産者がGAPのメリットを得られなくなったのである。第5章では、民間が実施する類似認証である4C（Common Code for Coffee Community）を分析し、その効果を分析した。生産者にとっては、大手コーヒー企業による民間認証の経済的利益が高いことが明らかにされた。4Cの生産工程管理の内容が明らかにされ、この認証が生産者と企業の双方にとってメリットがあると結論付けた。

第6章では、マンゴスティン生産者がGAPによって、どのようにインセンティブを得ているかを分析した。経済的インセンティブには、直接的なものと間接的なものがあり、生産者はプレミアム価格を得るとともに、費用削減の効果も享受していた。第7章では、マンゴスティンの産地市場流通の動向を調査分析し、収穫前期にはGAP認証にもとづく売買が成立するが、最盛期になると認証のない生産物との区別なく扱われていた。市場流通の分析を通じて、GAP生産物を扱う市場取引には4つのステージがあると考察した。"Win-win stage"、"Market powered stage"、"Critical stage"、"Stand by stage"である。それぞれを特徴づけながら、マンゴスティンの場合は季節によってこのステージが移っていくと結論付けた。第8章は、全体の総括と分析を踏まえたGAPの発展に向けた提案である。前章で分析した4つのステージを念頭に置いて、政府によるGAP認証と民間の類似認証とを組み合わせることを提案した。

本論文は、タイの輸出用農産物の生産工程管理に関する研究である。先行研究の多くは、GAPが生産者に及ぼす否定的な面ばかりを強調しているのに対し、本論文では農業経営や市場においてどのように機能しているかを客観的に分析した。生産工程管理ができる小規模農業者にとってGAPは有効な市場対応の手段であり、農業経営改革の手法になると結論付けた。本論文のオリジナル性は高く、その社会的価値も大きい。

以上、審査の結果、本論文の著者は博士（学術）の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。